

令和5年12月16日  
豊岡市商工会

## 豊岡市商工会管内企業動向調査結果

(令和5年10月～12月期実績、令和6年1月～3月期見通し)

《1》 調査時点 令和5年12月5日

《2》 調査対象

調査依頼先  
150企業

有効回答数  
140企業 (回答率93%)

業種	企業数	城崎		竹野		日高		出石		但東		回答数
		対象	回答	対象	回答	対象	回答	対象	回答	対象	回答	
製造業	27	2	2	3	3	10	9	8	8	4	3	25
建設業	26	2	2	3	3	13	12	5	4	3	3	24
小売業	33	9	9	2	2	11	10	9	8	2	2	31
飲食業	22	7	7	2	2	6	6	6	6	1	1	22
宿泊業	20	8	6	5	5	7	6	0	0	0	0	17
サービス業	22	2	2	2	2	12	11	3	3	3	3	21
合計	150	30	28	17	17	59	54	31	29	13	12	140

《3》 調査項目

- ①売上高 ②仕入単価 ③採算性 ④資金繰り ⑤景況感  
⑥従業員の人数 ⑦直面している経営上の問題 ⑧今後取り組んでいきたいこと  
⑨原材料の不足や高騰の影響 ⑩その具体的な内容

【令和5年10～12月期実績】

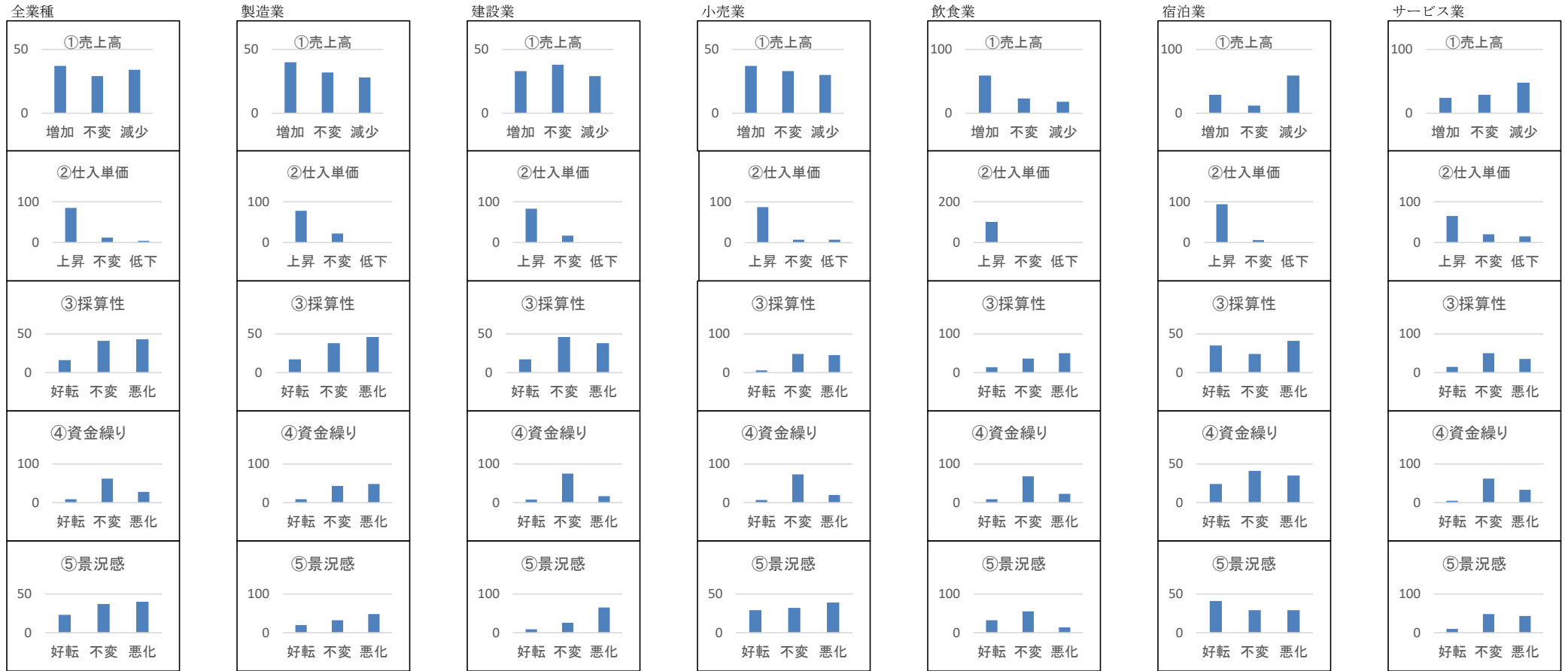
(1)	全業種の売上高DIは、(前期▲1→) ▲2 (前期比1ポイント減) となり、やや減少した。
	業種別売上高DIは、製造業、建設業、小売業、飲食業では増加、宿泊業、サービス業では減少した。
(2)	全業種の仕入単価DIは、70 (前期77) とやや低下した。
	業種別仕入単価DIは、飲食業では上昇し、宿泊業では横ばい、その他の業種では低下した。
(3)	全業種の採算性DIは、(前期▲37→) ▲26 (前期比11ポイント増) となり、マイナス幅が縮小した。
	業種別採算性DIは、建設業、小売業、宿泊業、サービス業では上昇、製造業、飲食業では低下した。
(4)	全業種の資金繰りDIは、(前期▲23→) ▲16 (前期比7ポイント増) となりマイナス幅がやや縮小した。
	業種別資金繰りDIは、建設業、小売業、飲食業、宿泊業では上昇し、製造業、サービス業では低下した。
(5)	全業種の景況感DIは、(前期▲20→) ▲12 (前期比8ポイント増) となり、マイナス幅が縮小した。
	業種別の景況感DIは、サービス業のみ大幅にポイントが低下し、その他のすべての業種では上昇した。

【令和6年1～3月期の見通し】

	全業種の売上高DIは、▲12となり10ポイントマイナス幅が縮小する見通し。(好転)
	業種別売上高DIは、宿泊業が増加し、製造業、建設業、小売業、飲食業で減少する見通し。サービス業は横ばい。
(2)	全業種の仕入単価DIは、67となり、ほぼ横ばいとなる見通し。(やや低下)
	業種別仕入単価DIは、小売業がやや上昇し、建設業、飲食業、サービス業で低下の見通し。製造業、宿泊業は横ばい。
(3)	全業種の採算単価DIは、▲23となり3ポイントマイナス幅が縮小する見通し。(好転)
	業種別採算性DIは、小売業、宿泊業、サービス業では上昇し、製造業、建設業では低下する見通し。飲食業は横ばい。
(4)	全業種の資金繰りDIは、▲18となり2ポイントマイナス幅が拡大する見通し。(悪化)
	業種別の資金繰りDIは、製造業、宿泊業、サービス業では上昇し、建設業、小売業、飲食業では低下する見通し。
(5)	全業種の景況感DIは、▲16となり4ポイントマイナス幅が拡大する見通し。(悪化)
	業種別の景況感DIは、小売業、サービス業では上昇し、製造業、建設業、飲食業、宿泊業では低下する見通し。

【1】前年同期比

前年同期（令和4年10月～12月）と比べた今期（令和5年10月～12月）の状況



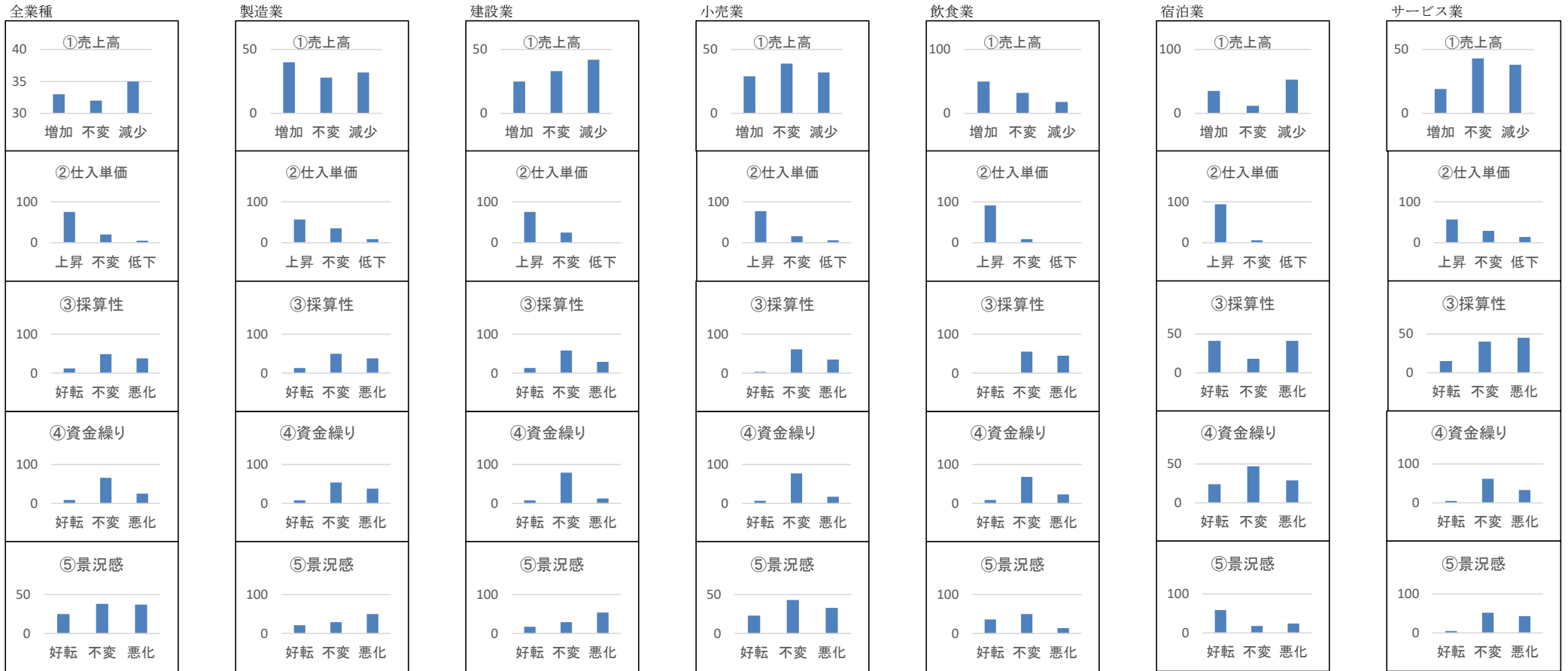
【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	3	12	4	7	41	▲ 30	▲ 24
仕入単価	81	78	83	80	100	94	50
採算性	▲ 27	▲ 29	▲ 21	▲ 39	▲ 36	▲ 6	▲ 20
資金繰り	▲ 19	▲ 39	▲ 9	▲ 13	▲ 14	▲ 11	▲ 28
景況感	▲ 17	▲ 28	▲ 56	▲ 10	18	12	▲ 33

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合  
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合  
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【2】前期比

前期（令和5年7月～9月）と比べた今期（令和5年10月～12月）の状況



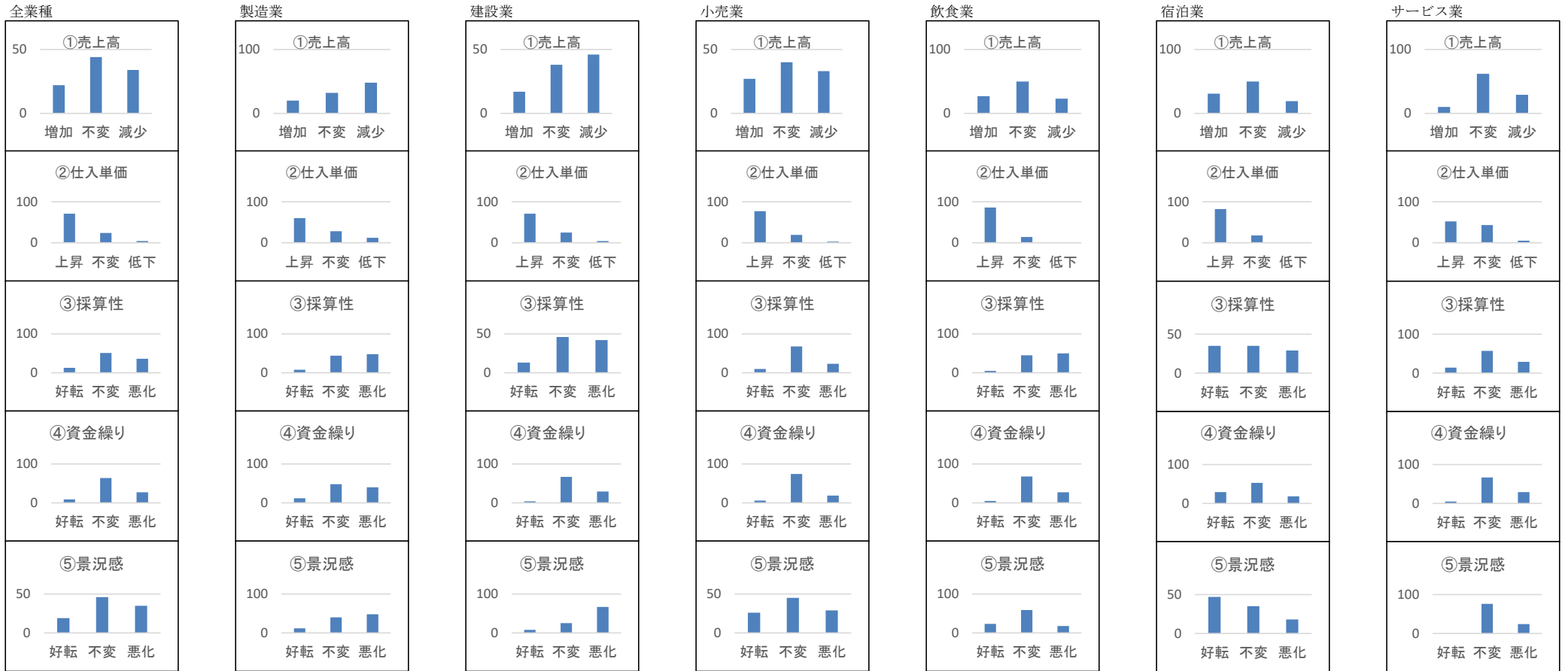
【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 2	8	▲ 17	▲ 3	32	▲ 18	▲ 19
仕入単価	70	48	75	71	91	94	43
採算性	▲ 26	▲ 25	▲ 16	▲ 32	▲ 45	0	▲ 30
資金繰り	▲ 16	▲ 30	▲ 5	▲ 10	▲ 14	▲ 5	▲ 28
景況感	▲ 12	▲ 29	▲ 37	▲ 10	22	35	▲ 38

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合  
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合  
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【3】来期の見通し

今期（令和5年10月～12月）と比べた来期（令和6年1月～3月）の見通し

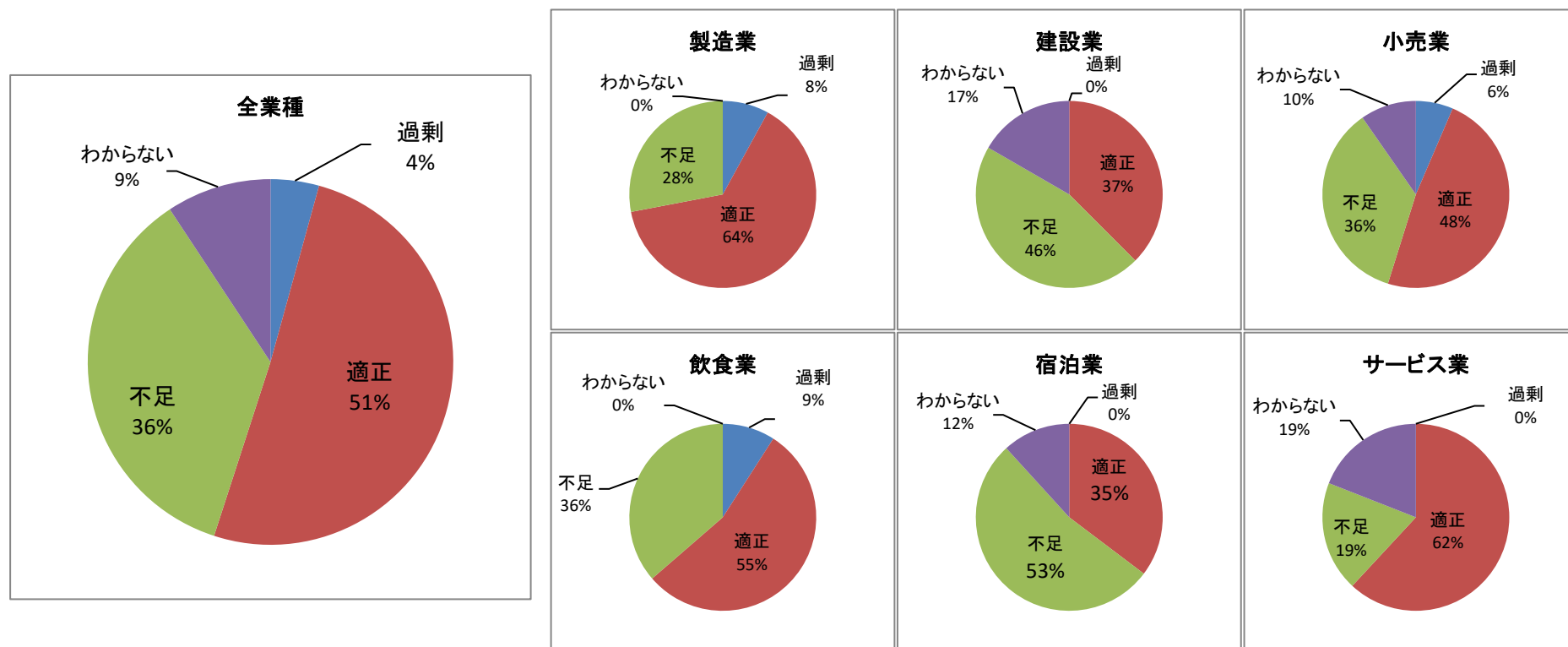


【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 12	▲ 28	▲ 29	▲ 6	4	12	▲ 19
仕入単価	67	48	67	74	86	82	47
採算性	▲ 23	▲ 40	▲ 29	▲ 13	▲ 45	6	▲ 15
資金繰り	▲ 18	▲ 28	▲ 25	▲ 13	▲ 22	11	▲ 24
景況感	▲ 16	▲ 36	▲ 59	▲ 3	5	29	▲ 24

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合  
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合  
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【4】従業員（臨時・パート含む）の人数について



今期（R5.10～12月）

⑥従業員の数（件数）	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
過剰	6	4.3%	2	8.0%	0	0.0%	2	6.5%	2	9.1%	0	0.0%	0	0.0%
適正	71	50.7%	16	64.0%	9	37.5%	15	48.4%	12	54.5%	6	35.3%	13	61.9%
不足	50	35.7%	7	28.0%	11	45.8%	11	35.5%	8	36.4%	9	52.9%	4	19.0%
わからない	13	9.3%	0	0.0%	4	16.7%	3	9.7%	0	0.0%	2	11.8%	4	19.0%
合計	140		25		24		31		22		17		21	

対前期比（R5.7～9月）

⑥従業員の数（件数）	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減
過剰	3.5%	0.8	4.0%	4.0	0.0%	0.0	3.2%	3.3	13.6%	-4.5	0.0%	0.0	0.0%	0.0
適正	56.3%	-5.6	64.0%	0.0	36.0%	1.5	67.7%	-19.3	63.6%	-9.1	42.1%	-6.8	59.1%	2.8
不足	29.2%	6.5	28.0%	0.0	36.0%	9.8	19.4%	16.1	22.7%	13.7	52.6%	0.3	22.7%	-3.7
わからない	11.1%	-1.8	4.0%	-4.0	28.0%	-11.3	9.7%	0.0	0.0%	0.0	5.3%	6.5	18.2%	0.8

【実績】

全業種で見ると、従業員の数に「適正」と回答した経営者が最も多く全体の50.7%を占める。次いで「不足」と回答した経営者は、35.7%である。対前期比では、「適正」が5.6%減、「不足」は6.5%増、という結果となった。

（製造業）「適正」と回答した経営者が64.0%と前期に引き続き最も多いが、「過剰」が対前期比4.0%増加。

（建設業）「不足」と回答した経営者が45.8%、対前期比9.8%増加となり、全業種において宿泊業に次ぐ高い割合で「不足」と回答された業種となった。

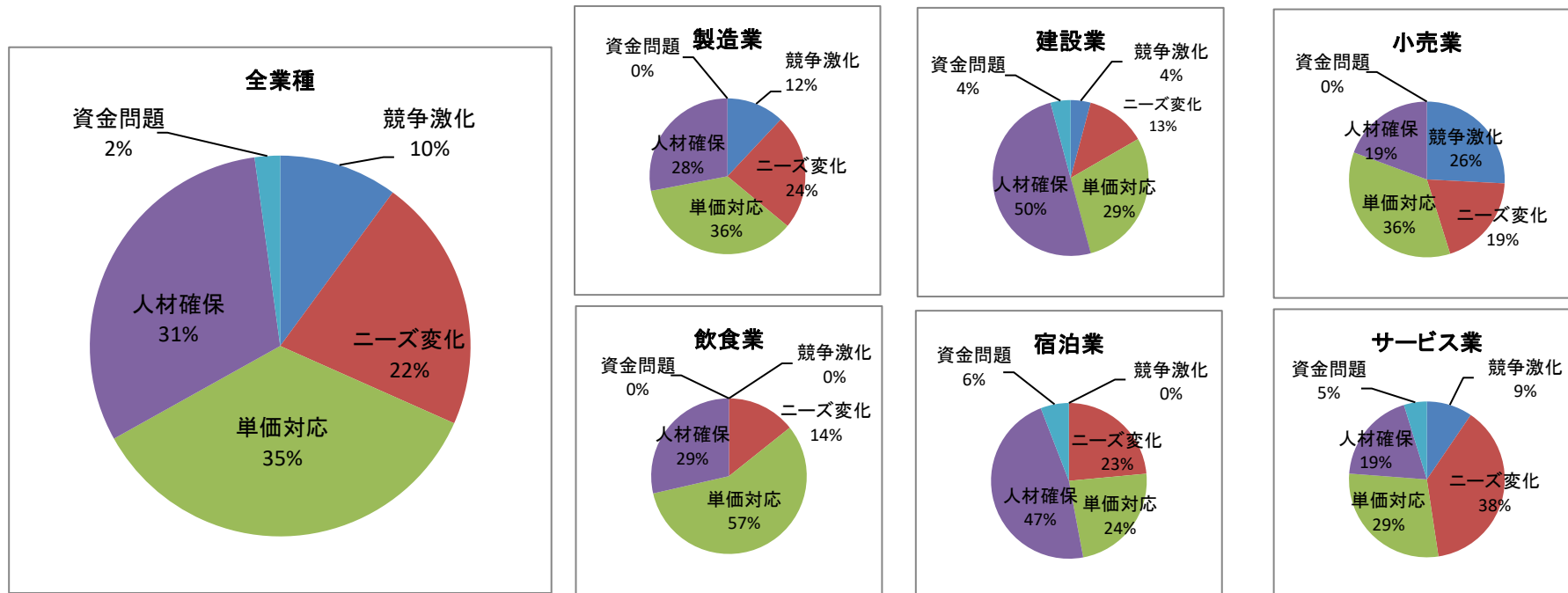
（小売業）「適正」と回答した経営者が48.4%と最も多いが、対前期比19.3%減少。一方で「不足」が対前期比16.1%増加。

（飲食業）「適正」と回答した経営者が54.5%と最も多いが、対前期比9.1%減少。一方で「不足」が対前期比13.7%増加。

（宿泊業）「不足」と回答した経営者が52.9%（対前期比0.3%増）となり、全業種において最も高い割合で「不足」と回答された業種となった。

（サービス業）「適正」と回答した経営者が61.9%（対前期比2.8%増）と最も多かった。全体的に前期と比べ大きな変化はない。

【5】直面している経営上の問題点について



今期 (R5.10~12)

⑦直面している経営上の問題点	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	
大手企業(大型店)進出、インターネット普及による販売競争の激化	14	10.1%	3	12.0%	1	4.2%	8	25.8%	0	0.0%	0	0.0%	2	9.5%	競争激化
消費者(製品)ニーズ変化への対応	30	21.6%	6	24.0%	3	12.5%	6	19.4%	3	14.3%	4	23.5%	8	38.1%	ニーズ変化
仕入単価(原材料)の上昇、販売受注単価の低下	49	35.3%	9	36.0%	7	29.2%	11	35.5%	12	57.1%	4	23.5%	6	28.6%	単価対応
必要な人材の雇用確保	43	30.9%	7	28.0%	12	50.0%	6	19.4%	6	28.6%	8	47.1%	4	19.0%	人材確保
事業資金の借入難	3	2.2%	0	0.0%	1	4.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.9%	1	4.8%	資金問題
合計	139		25		24		31		21		17		21		



対前期比（R5.7～9）

⑦直面している経営上の問題点	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	
大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化	9.2%	0.9	0.0%	12.0	12.5%	-8.3	25.8%	0.0	4.5%	-4.5	0.0%	0.0	4.8%	4.7	競争激化
消費者（製品）ニーズ変化への対応	17.6%	4.0	20.0%	4.0	0.0%	12.5	16.1%	3.3	9.1%	5.2	21.1%	2.4	42.9%	-4.8	ニーズ変化
仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下	44.4%	-9.1	44.0%	-8.0	41.7%	-12.5	41.9%	-6.4	63.6%	-6.5	47.4%	-23.9	28.6%	0.0	単価対応
必要な人材の雇用確保	23.9%	7.0	28.0%	0.0	37.5%	12.5	16.1%	3.3	18.2%	10.4	26.3%	20.8	19.0%	0.0	人材確保
事業資金の借入難	4.9%	-2.7	8.0%	-8.0	8.3%	-4.1	0.0%	0.0	4.5%	-4.5	5.3%	0.6	4.8%	0.0	資金問題

### 【実績】

全業種でみると「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」を認識する経営者が対前期比9.1%減ではあるが、引き続き最も多く35.3%の割合となった。次いで「必要な人材の雇用確保」、「消費者（製品）ニーズ変化への対応」となった。

（製造業）「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が36.0%となり、9期連続で最も多いが、対前期比では8.0%減。次いで「必要な人材の雇用確保」が28.0%、「消費者（製品）ニーズの変化への対応」が24.0%であった。

（建設業）「必要な人材の雇用確保」が50.0%と最も多い。（対前期比12.5%増）次いで「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が対前期比12.5%減の29.2%となった。

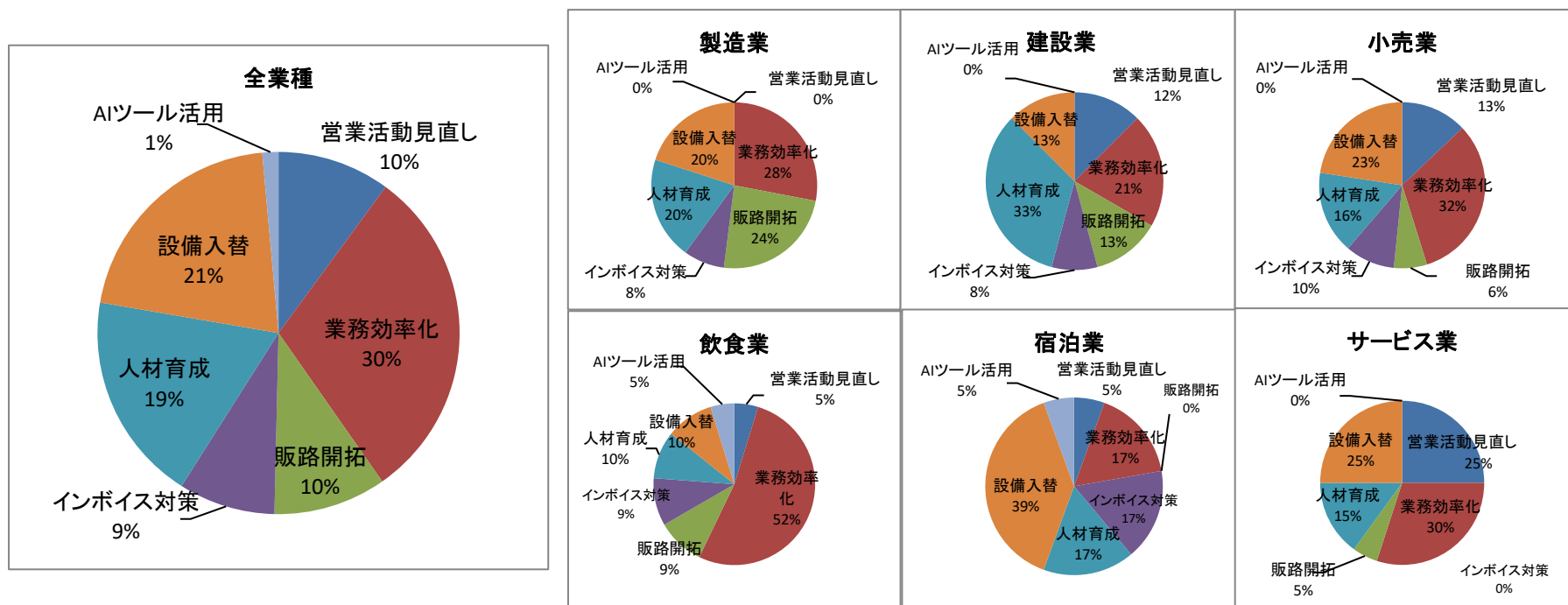
（小売業）「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が35.5%となり、7期連続で最も多いが、対前期比では6.4%減。

（飲食業）「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が57.1%となり、9期連続で最も多く、全業種においても最も高い割合となった（対前期比では6.5%減）

（宿泊業）「必要な人材の雇用確保」が47.1%と最も多く、対前期比20.8%の大幅増加となった。一方で前期まで7期連続で最も多かった「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」は23.9%の大幅減少となった。

（サービス業）「消費者ニーズ変化への対応」が前期に引き続き38.1%と最も多い割合となった。（対前期比4.8%減）

【6】 今後、取り組んでいきたいこと



今期 (R5.10~12)

⑧今後、取り組んでいきたいこと	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	
既存顧客のリスト化、営業活動の見直し	14	10.1%	0	0.0%	3	12.5%	4	12.9%	1	5.0%	1	5.9%	5	25.0%	営業活動見直し
業務の効率化、仕事の見える化	42	30.2%	7	28.0%	5	20.8%	10	32.3%	11	55.0%	3	17.6%	6	30.0%	業務効率化
販路開拓 (商談会・展示会・プレスリリース等)	14	10.1%	6	24.0%	3	12.5%	2	6.5%	2	10.0%	0	0.0%	1	5.0%	販路開拓
インボイス制度対策、会計管理の見直し	12	8.6%	2	8.0%	2	8.3%	3	9.7%	2	10.0%	3	17.6%	0	0.0%	インボイス対策
人材育成、社員教育	26	18.7%	5	20.0%	8	33.3%	5	16.1%	2	10.0%	3	17.6%	3	15.0%	人材育成
設備の入替・更新	29	20.9%	5	20.0%	3	12.5%	7	22.6%	2	10.0%	7	41.2%	5	25.0%	設備入替
Chat GPTなどのAIツールの活用	2	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.0%	1	5.9%	0	0.0%	AIツール活用
合計	139		25		24		31		20		17		20		

対前期比（R5.7～9）

⑧今後、取り組んでいきたいこと	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	
既存顧客のリスト化、営業活動の見直し	11.9%	-1.8	8.0%	-8.0	8.3%	4.2	9.7%	3.2	9.5%	-4.5	11.1%	-5.2	27.3%	-2.3	営業活動見直し
業務の効率化、仕事の見える化	27.3%	2.9	32.0%	-4.0	20.8%	0.0	41.9%	-9.6	33.3%	21.7	11.1%	6.5	18.2%	11.8	業務効率化
販路開拓（商談会・展示会・プレスリリース等）	7.7%	2.4	12.0%	12.0	4.2%	8.3	9.7%	-3.2	9.5%	0.5	0.0%	0.0	9.1%	-4.1	販路開拓
インボイス制度対策、会計管理の見直し	14.0%	-5.4	12.0%	-4.0	16.7%	-8.4	9.7%	0.0	19.0%	-9.0	16.7%	0.9	13.6%	-13.6	インボイス対策
人材育成、社員教育	20.3%	-1.6	24.0%	-4.0	37.5%	-4.2	16.1%	0.0	14.3%	-4.3	22.2%	-4.6	9.1%	5.9	人材育成
設備の入替・更新	17.5%	3.4	12.0%	8.0	12.5%	0.0	12.9%	9.7	14.3%	-4.3	38.9%	2.3	22.7%	2.3	設備入替
Chat GPTなどのAIツールの活用□	1.4%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	4.8%	0.2	5.6%	0.3	0.0%	0.0	AIツール活用

**【実績】**

経営者が「今後、取り組んでいきたいこと」として全業種では、「業務の効率化、仕事の見える化」が30.2%（対前期比2.9%増）で最も多い割合となった。次いで「設備の入替・更新」が20.9%、全項目において対前期比では大幅な変化はない。

（製造業）「業務の効率化、仕事の見える化」が28.0%と最も多い割合となった。（対前期比4.0%減）  
次いで「販路開拓（商談会・展示会・プレスリリース等）」が24.0%となった。（対前期比12.0%増）

（建設業）「人材育成、社員教育」が33.3%と前期に続き最も多い割合となった。（対前期比4.2%減）  
次いで「業務の効率化、見える化」は20.8%となった。（対前期比変化なし）

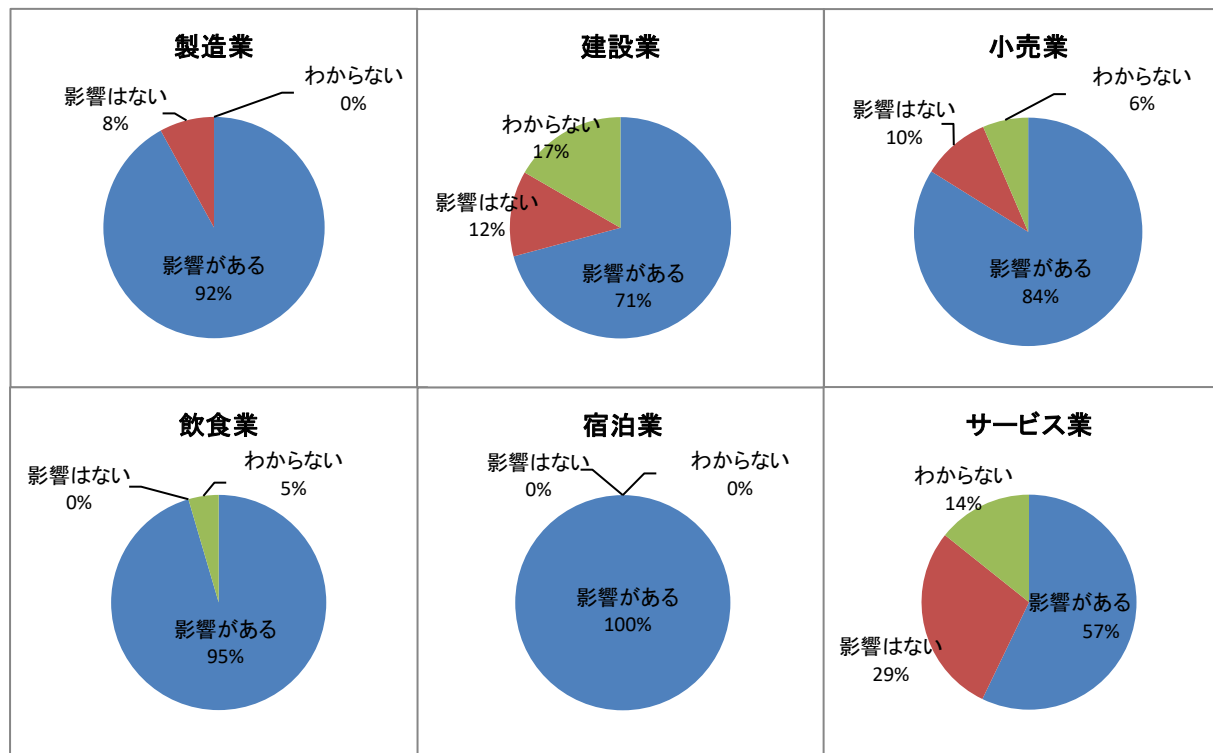
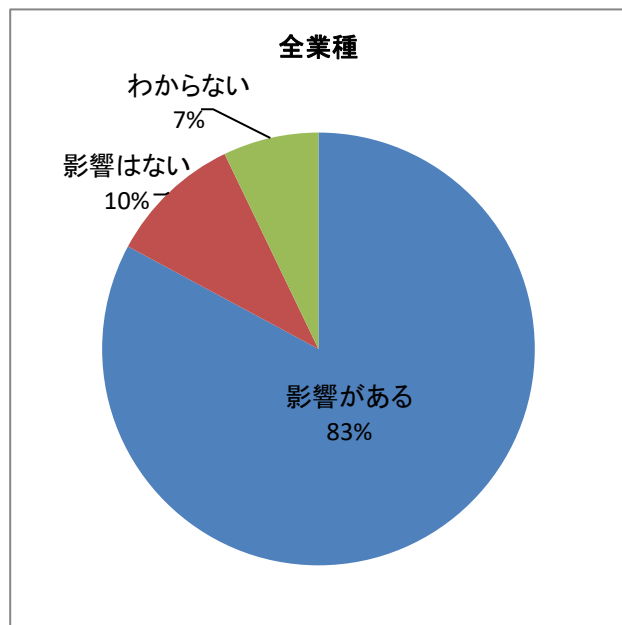
（小売業）「業務の効率化、仕事の見える化」が32.3%と最も多い割合となったが、対前期比は9.6%減少。  
次いで、「設備の入替・更新」が22.6%となった。（対前期比9.7%増）

（飲食業）「業務の効率化、仕事の見える化」が55.0%と前期に続き最も多く、対前期比も21.7%大幅に増加した。

（宿泊業）「設備の入替・更新」が41.2%と前期に続き最も多い割合となった。（対前期比2.3%増）

（サービス業）「業務の効率化、仕事の見える化」が30.0%と最も多い割合となった。（対前期比11.8%増）  
次いで、「既存顧客のリスト化、営業活動の見直し」「設備の入替・更新」が共に25.0%の割合となった。

【7】 自社の主な商品・サービスにおいて原材料の不足や高騰の影響はありますか？



今期 (R 5.10~12)

⑨原材料の不足や高騰の影響はありますか？	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	
影響がある	116	82.9%	23	92.0%	17	70.8%	26	83.9%	21	95.5%	17	100.0%	12	57.1%	影響がある
影響はない	14	10.0%	2	8.0%	3	12.5%	3	9.7%	0	0.0%	0	0.0%	6	28.6%	影響はない
わからない	10	7.1%	0	0.0%	4	16.7%	2	6.5%	1	4.5%	0	0.0%	3	14.3%	わからない
合計	140		25		24		31		22		17		21		

対前期比（R5.7～9）

⑨原材料の不足や高騰の影響はありますか？	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減
影響がある	83.1%	-0.2	88.0%	4.0	76.0%	-5.2	77.4%	6.5	95.5%	0.0	94.7%	5.3	70.0%	-12.9
影響はない	8.5%	1.5	8.0%	0.0	6.5%	6.0	4.5%	5.2	4.5%	-4.5	5.3%	-5.3	20.0%	8.6
わからない	8.5%	-1.4	4.0%	-4.0	16.1%	0.6	0.0%	6.5	0.0%	4.5	0.0%	0.0	10.0%	4.3

【実績】

「影響がある」と回答した経営者の割合は、全業種で82.9%と大半を占めており、「製造業」「小売業」「宿泊業」においても90%前後の割合で影響があると回答した。（対前期比0.2%減）

（製造業）「影響がある」と回答した経営者は、92.0%であった。（対前期比4.0%増）

（建設業）「影響がある」と回答した経営者は、70.8%であった。（対前期比5.2%減）

（小売業）「影響がある」と回答した経営者は、83.9%であった。（対前期比6.5%増）

（飲食業）「影響がある」と回答した経営者は、95.5%であった。（対前期比変化無し）

（宿泊業）「影響がある」と回答した経営者は、100%であった。（対前期比5.3%増）  
全業種の中、で一番多く「影響がある」と指摘する経営者の割合が高い。

（サービス業）「影響がある」と回答した経営者は、57.1%であった。（対前期比12.9%減）

【8】 自社の主な商品・サービスにおいて原材料の不足や高騰について、影響の有無に関わらず、前回調査時と比較したときの状況の変化。  
 (参考：ポストコロナ、原油価格・物価高騰、円安、ゼロゼロ融資の状況、インボイスの状況等)

1	円高進行時に製造業の海外移転が進み、円安の今は加工貿易立国とはいえ、国内の製造業の景況感がいまいち盛り上がらない。 (製造業・日高)
2	インボイス制度は業務の煩雑さを増し一刻も早く廃止を願う。(製造業・日高)
3	売上が向上しないのにゼロゼロ融資返済が始まる。(小売業・日高)
4	最終製品の需要の低下(製造業・日高)
5	仕入れ単価も問題だが、原材料不足であり、人不足。メーカー、問屋ともに以前のような動きがない。(小売業・日高)
6	見積もり、入札時と資材仕入れ時期が半年や1年ずれるケースはよくある、よってあらゆる要因で利益圧迫状況になっている。さあどれだけの同業他社が生き残れるのか不透明。今後色々と一般生活に影響が出ることでしょう。(建設業・竹野)
7	インボイスは対応しているが、対応処理が面倒であった。(今後もありそう)物価高騰の終わりが見えず、価格転嫁がまにあわず、先行きが不透明。(製造業・竹野)
8	材料費は高騰しているが大きな価格変更をすることを躊躇している状況。(飲食業・城崎)
9	光熱費・仕入価格の高騰(サービス業・出石町)(飲食業・日高)(宿泊業・日高)
10	物価高騰、最低賃金UPしているが、売上高が追いついていない現状だ。(飲食業・出石町)
11	仕入れ価格、人件費増加でも、値上げはなかなか難しい。やっと人員確保できたが、大変な時期が長かった。(小売業・城崎町)

12	商品が出来上がってこない。（小売業・城崎）
13	お客様がすごく増えたにも関わらず、かへの不足や高騰に苦慮している。（飲食業・城崎）
14	TPPは機能していないのか？（製造業・城崎）
15	仕入れ価格の高騰（宿泊業・城崎）
16	原油価格・物価高騰（小売業・竹野）
17	円安の影響によるインバウンドや国内旅行の増加、ポストコロナ(ポジティブ・行動規制のほぼ撤廃、ネガティブ・旅行支援策終了)（宿泊業・竹野）
18	原材料の価格高騰は時期がズレましたが何とか価格転嫁できましたが、製造に必要なエネルギーや人件費の高騰などの頻繁に変動する費用については、価格に転嫁しにくい。（製造業・出石）
19	中国経済の低迷（製造業・出石）
20	業界の未来が乏しい。取引先に対しても「嫌なら辞めたらいい！」の一点張りで価格交渉に応じる構えがない。新規顧客の開拓を本格的に考えなければならない。（製造業・但東）
21	影響があるのは灯油代、仕入原価（サービス業・但東）
22	インボイス制度が導入され事務が負担が増える（建設業・日高）
23	今年、コロナが5類になったとき以降は落ち込み感があったけど、10月後半から人の動きがおおくなった感がある。（宿泊業・日高）
24	前回調査と重複していると思いますが、光熱費や原材料費高騰のわりに製品単価を上げることが困難な状態です。（製造業・出石）
25	各種材料及び発注下請け工事の高騰により、採算悪化している。（建設業・但東）
26	ガソリン・灯油等の燃料費も含めてすべての価格が昨年より高くなっており経費がかかりすぎる。（小売業・出石）
27	物価高騰、円安（宿泊業・城崎）

28	仕入価格上昇のため、販売価格を上げたが、利益はでない。（飲食業・日高）
29	パンに必要な不可欠な材料が前年から再三に渡る値上げで3割以上値上がり。何度も原価計算をしているが正直もうどれだけパン価格へ転嫁してよいのかわからない。人件費も2年で80円以上も最低賃金が上がるし、きつい。（小売業・日高）
30	物価高騰、人口減少、受注減少（小売業・出石）
31	物価高騰、仕入価格の上昇（飲食業・城崎）
32	円安により、輸入品の金額が上がっている。（製造業・日高）
33	原材料、燃料代が上昇しどれだけ価格へ転嫁すればよいのか、物価の上昇による買い控えもあり先行きが不透明ポストコロナでインバウンド需要が…とニュースになっているが、景気がいいのは一部の業者（業種）であるように思う。（製造業・出石）

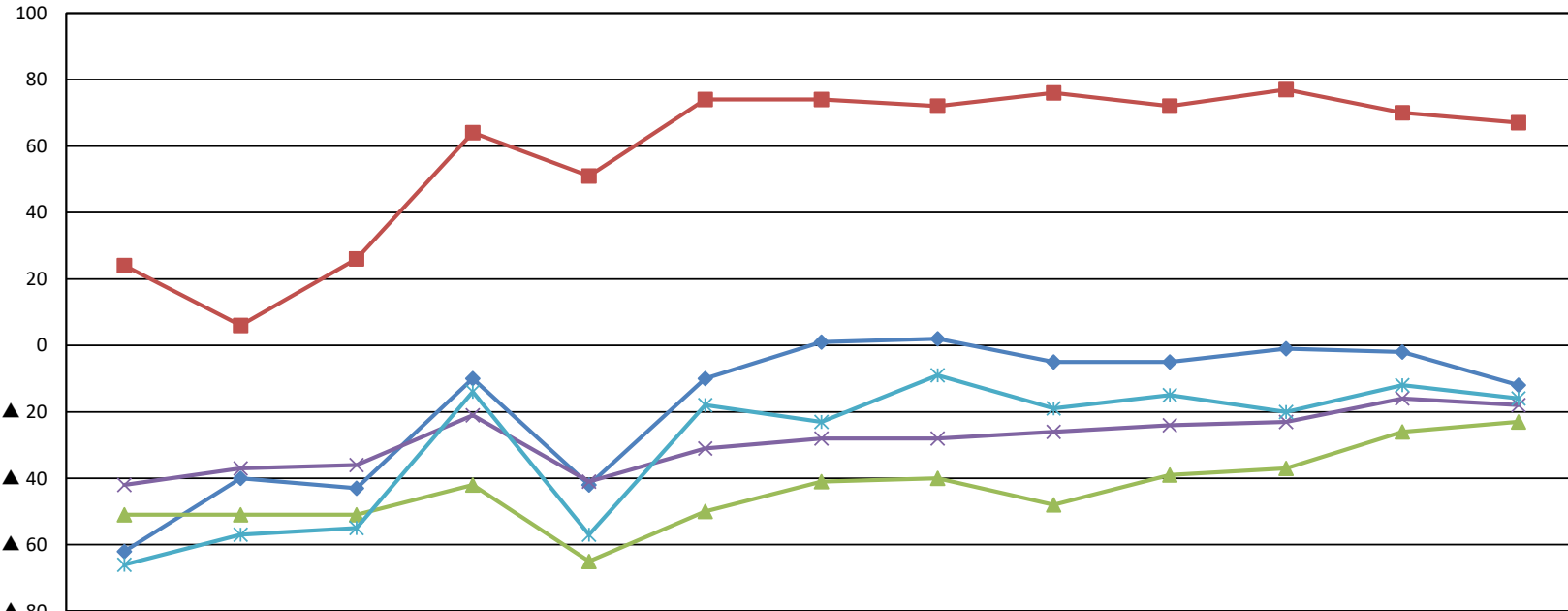


【9】自由コメント

1	人材の確保・育成が鍵となる。（製造業・日高）
2	地方は人口減が早くまともに受け売り上げが伸びない中、借入金返済は待った無し。過去のような好景気は無く物販業は売上向上は至難の業。返済方法に温かい政策を求めたい。（小売業・日高）
3	うちの業界、とくに贈答品に関してはコロナが収まってもなかなか以前のようににはならない慶弔事全般においてそうなのでは？（小売業・日高）
4	土木の入札案件は多少あるが、建築の入札案件は全く無い、景気はかなり悪い。当社は前年度完成工事繰越工事があるので、今期の数値は落とすことはない見込みだが、次年度の繰越工事は今後半年にかかっている。当社でこの有様なので、この地域でも廃業者が今後出てくるであろう。（建設業・竹野）
5	内部の作業（主に事務作業）の効率化（RPAや、面倒だった手作業での集計をおこなうための）ツール作成に、ChatGPT等を利用している。（製造業・竹野）
6	世界中が平和になり、好景気を望むばかりです。（製造業・出石）
7	所得税の扶養控除額、社会保険の扶養控除額の引き上げを商工会より政府へ提言頂きたいです。
8	入札の低迷、取引先の公共事業低迷（サービス業・日高）
9	景気が良くなったから物価も上がる、というのはどこのだれの話か。どんどんお金持ちと貧乏の差が開いている。貧乏は暇もないので体力もかなり消耗している。もっと個人事業者にも優しい世の中になってほしい。（小売業・日高）

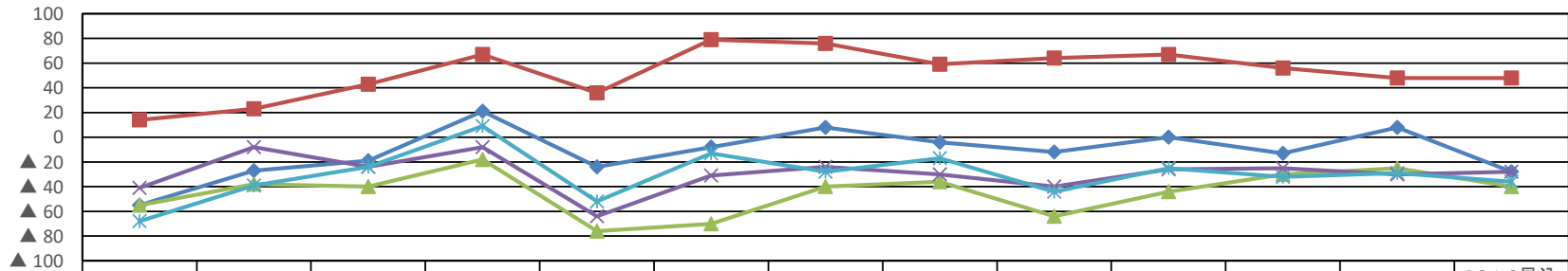
豊岡市商工会管内における3年間の景気動向調査結果

全業種DI推移



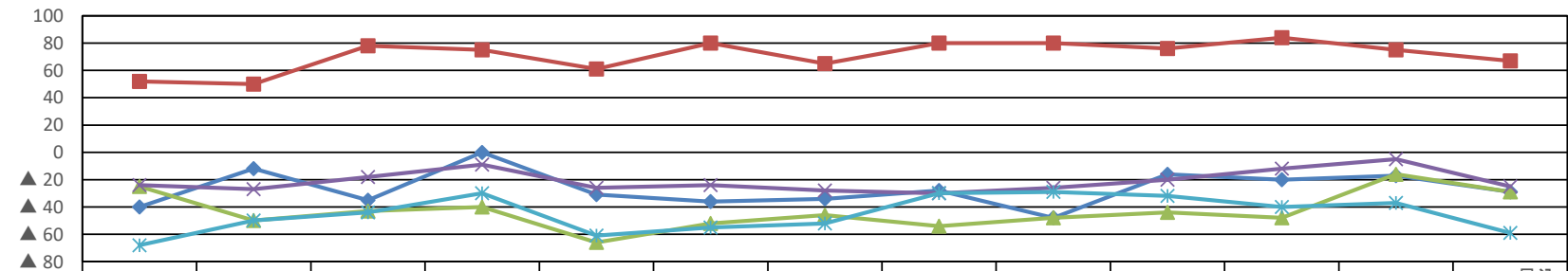
	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3見込み
● 売上高	▲ 62	▲ 40	▲ 43	▲ 10	▲ 42	▲ 10	1	2	▲ 5	▲ 5	▲ 1	▲ 2	▲ 12
■ 仕入単価	24	6	26	64	51	74	74	72	76	72	77	70	67
▲ 採算性	▲ 51	▲ 51	▲ 51	▲ 42	▲ 65	▲ 50	▲ 41	▲ 40	▲ 48	▲ 39	▲ 37	▲ 26	▲ 23
× 資金繰り	▲ 42	▲ 37	▲ 36	▲ 21	▲ 41	▲ 31	▲ 28	▲ 28	▲ 26	▲ 24	▲ 23	▲ 16	▲ 18
* 景況感	▲ 66	▲ 57	▲ 55	▲ 14	▲ 57	▲ 18	▲ 23	▲ 9	▲ 19	▲ 15	▲ 20	▲ 12	▲ 16

### 製造業DI推移



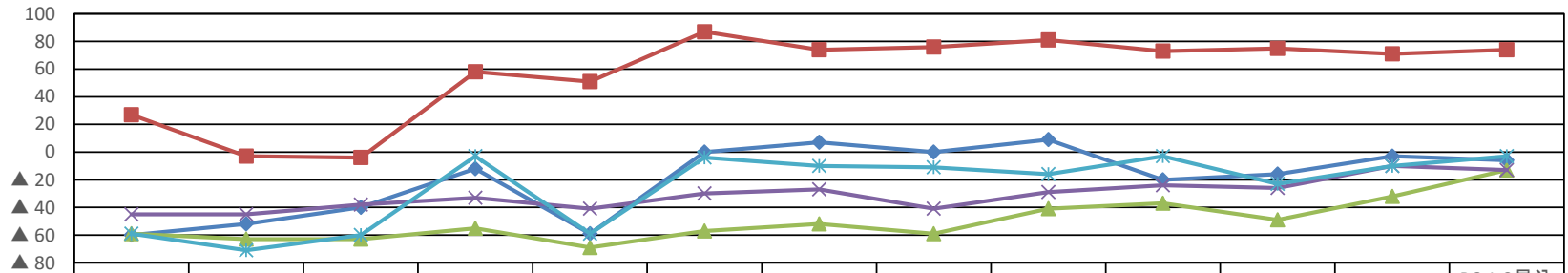
	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3見込み
● 売上高	▲ 55	▲ 27	▲ 19	21	▲ 24	-8	8	▲ 4	▲ 12	0	▲ 13	8	▲ 28
■ 仕入単価	14	23	43	67	36	79	76	59	64	67	56	48	48
▲ 採算性	▲ 55	▲ 38	▲ 40	▲ 18	▲ 76	▲ 70	▲ 40	▲ 36	▲ 64	▲ 44	▲ 30	▲ 25	▲ 40
× 資金繰り	▲ 41	▲ 8	▲ 24	▲ 8	▲ 64	▲ 31	▲ 24	▲ 30	▲ 40	▲ 26	▲ 25	▲ 30	▲ 28
* 景況感	▲ 68	▲ 39	▲ 24	9	▲ 52	▲ 13	▲ 28	▲ 17	▲ 44	▲ 25	▲ 32	▲ 29	▲ 36

### 建設業DI推移



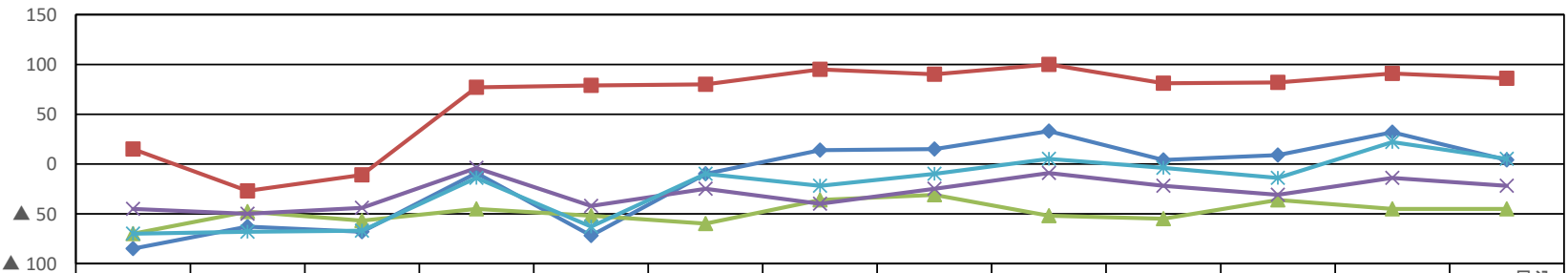
	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3見込み
● 売上高	▲ 40	▲ 12	▲ 35	0	▲ 31	▲ 36	▲ 34	▲ 28	▲ 48	▲ 16	▲ 20	▲ 17	▲ 29
■ 仕入単価	52	50	78	75	61	80	65	80	80	76	84	75	67
▲ 採算性	▲ 25	▲ 50	▲ 43	▲ 40	▲ 66	▲ 52	▲ 46	▲ 54	▲ 48	▲ 44	▲ 48	▲ 16	▲ 29
× 資金繰り	▲ 24	▲ 27	▲ 18	▲ 9	▲ 26	▲ 24	▲ 28	▲ 30	▲ 26	▲ 20	▲ 12	▲ 5	▲ 25
* 景況感	▲ 68	▲ 50	▲ 44	▲ 30	▲ 61	▲ 55	▲ 52	▲ 30	▲ 29	▲ 32	▲ 40	▲ 37	▲ 59

### 小売業DI推移



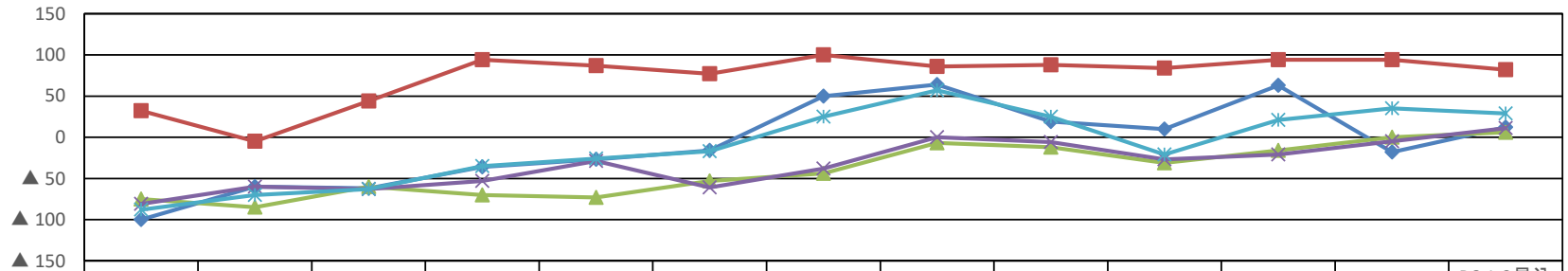
	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3見込み
● 売上高	▲ 60	▲ 52	▲ 40	▲ 12	▲ 59	0	7	0	9	▲ 20	▲ 16	▲ 3	▲ 6
■ 仕入単価	27	▲ 3	▲ 4	58	51	87	74	76	81	73	75	71	74
▲ 採算性	▲ 59	▲ 63	▲ 63	▲ 55	▲ 69	▲ 57	▲ 52	▲ 59	▲ 41	▲ 37	▲ 49	▲ 32	▲ 13
× 資金繰り	▲ 45	▲ 45	▲ 38	▲ 33	▲ 41	▲ 30	▲ 27	▲ 41	▲ 29	▲ 24	▲ 26	▲ 10	▲ 13
★ 景況感	▲ 59	▲ 71	▲ 60	▲ 3	▲ 59	▲ 4	▲ 10	▲ 11	▲ 16	▲ 3	▲ 23	▲ 10	▲ 3

### 飲食業DI推移



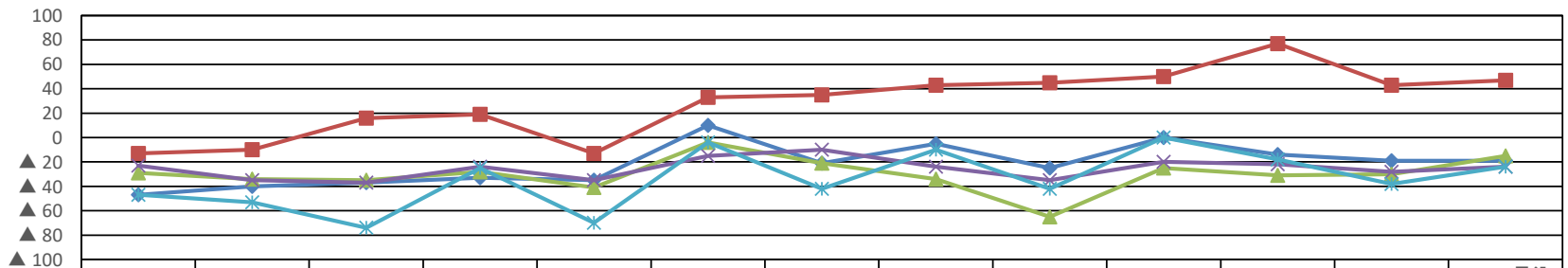
	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3見込み
● 売上高	▲ 85	▲ 63	▲ 68	▲ 9	▲ 72	▲ 10	14	15	33	4	9	32	4
■ 仕入単価	15	▲ 27	▲ 11	77	79	80	95	90	100	81	82	91	86
▲ 採算性	▲ 70	▲ 48	▲ 57	▲ 45	▲ 52	▲ 60	▲ 36	▲ 31	▲ 52	▲ 55	▲ 36	▲ 45	▲ 45
× 資金繰り	▲ 45	▲ 50	▲ 44	▲ 4	▲ 42	▲ 25	▲ 40	▲ 25	▲ 9	▲ 22	▲ 31	▲ 14	▲ 22
★ 景況感	▲ 70	▲ 68	▲ 67	▲ 14	▲ 63	▲ 10	▲ 22	▲ 10	5	▲ 4	▲ 14	22	5

### 宿泊業DI推移



	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3見込み
◆ 売上高	▲ 100	▲ 60	▲ 62	▲ 36	▲ 27	▲ 16	50	64	19	10	63	▲ 18	12
■ 仕入単価	32	▲ 5	44	94	87	77	100	86	88	84	94	94	82
▲ 採算性	▲ 75	▲ 85	▲ 60	▲ 70	▲ 73	▲ 53	▲ 44	▲ 7	▲ 12	▲ 31	▲ 16	0	6
× 資金繰り	▲ 81	▲ 60	▲ 63	▲ 53	▲ 29	▲ 61	▲ 38	0	▲ 6	▲ 27	▲ 21	▲ 5	11
* 景況感	▲ 88	▲ 70	▲ 63	▲ 35	▲ 26	▲ 17	25	57	25	▲ 21	21	35	29

### サービス業DI推移



	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3見込み
◆ 売上高	▲ 47	▲ 40	▲ 37	▲ 33	▲ 35	10	▲ 21	▲ 5	▲ 25	0	▲ 14	▲ 19	▲ 19
■ 仕入単価	▲ 13	▲ 10	16	19	▲ 13	33	35	43	45	50	77	43	47
▲ 採算性	▲ 29	▲ 34	▲ 35	▲ 28	▲ 41	▲ 4	▲ 21	▲ 34	▲ 65	▲ 25	▲ 31	▲ 30	▲ 15
× 資金繰り	▲ 23	▲ 35	▲ 37	▲ 24	▲ 35	▲ 15	▲ 10	▲ 24	▲ 35	▲ 20	▲ 22	▲ 28	▲ 24
* 景況感	▲ 47	▲ 53	▲ 74	▲ 25	▲ 70	▲ 4	▲ 42	▲ 10	▲ 42	0	▲ 18	▲ 38	▲ 24